



2026 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社元気な介護
(コード番号 599A TOKYO PRO Market、Sapporo PRO Frontier Market)
代表者名 代表取締役 池田 元気
問合せ先 常務取締役管理部長 島田 直樹
T E L 011-708-3000
U R L <https://genkinakaigo.co.jp>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market 及び札幌証券取引所 Sapporo PRO Frontier Market

上場目的に関するお知らせ

当社は、TOKYO PRO Market 及び Sapporo PRO Frontier Market への上場目的について、以下のとおり開示いたします。

1. はじめに

当社は、このたび東京証券取引所 TOKYO PRO Market 及び札幌証券取引所 Sapporo PRO Frontier Market への上場承認を受け、上場会社として新たな一歩を踏み出すこととなりました。

当社は、本上場を企業としてのゴールではなく、持続的な成長と企業価値の向上を実現するための新たなスタートであると位置付けております。本開示では、両市場への上場を決定した背景と目的、そして今後の成長に向けた考え方についてご説明いたします。

2. 当社の歩みと上場を目指した背景

当社グループは、北海道で創業以来、「介護が必要になっても、その人らしく暮らし続けられる社会の実現」を経営理念に掲げ、ご利用者様一人ひとりの想いに寄り添い、「わが家のような安心」を感じていただける介護サービスの提供に努めてまいりました。

現在では、介護付有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、訪問介護、訪問看護、通所介護など、多様な介護サービスを全国で展開しております。新規出店に加え、M&A も活用しながら事業基盤を拡大し、地域ごとのニーズに応じたサービスの提供を通じて、地域包括ケアシステムの充実に取り組んでまいりました。

一方で、事業規模の拡大に伴い、介護サービスの品質向上に加え、コーポレート・ガバナンス、内部管理体制、コンプライアンス及びリスク管理体制をより一層充実させることが、持続的な成長を実現するための重要な経営課題であると認識しております。

また、介護サービスは社会的責任の大きな事業であり、ご利用者様、ご家族様、取引先、金融機関、地域社会、従業員など、多くのステークホルダーからの信頼の上に成り立っています。そのため、経営の透明性及び健全性を高めるとともに、適時・適切な情報開示を継続し、客観的な視点を取り入れながら経営基盤をさらに強化していくことが不可欠であると判断し、このたび両市場への上場を決定いたしました。

3. 両市場を選択した理由と上場を通じて目指す姿

当社は、東京証券取引所 TOKYO PRO Market 及び札幌証券取引所 Sapporo PRO Frontier Market への上場

を、企業価値の向上に向けた重要な成長戦略の一つと位置付けております。

両市場は、上場会社として求められるガバナンス、内部管理体制及び情報開示体制の充実を継続的に図ることができる市場であり、J-Adviser 及び S-Adviser による専門的な助言及び確認を受けながら、企業として更なる成長を目指すことができる環境であると考えております。

当社は、本上場を通じて、適時・適切な情報開示を継続するとともに、コーポレート・ガバナンスの実効性向上、内部統制及びリスク管理体制の更なる強化に取り組み、上場会社としてふさわしい経営基盤の構築を進めてまいります。

また、北海道に本社を置く企業として札幌証券取引所へ上場することは、地域に根ざして成長してきた当社の歩みを示すとともに、北海道経済の活性化や地域社会の発展に貢献していく意思を表すものでもあります。地域社会とのつながりを大切にしながら、更なる成長を目指してまいります。

一方、全国で事業を展開する企業として東京証券取引所へ上場することは、全国的な信用力及び認知度の向上につながるだけでなく、人材の採用・定着、金融機関や取引先との連携強化、さらには新たな事業提携や M&A など、持続的な成長に向けた様々な機会の創出にも寄与するものと考えております。

当社は、上場によって得られる社会的信用を事業拡大のみならず、介護サービスの品質向上に還元していくことを重視しております。教育・研修体制の充実、人材育成、働きやすい職場環境の整備、ICT・DX の活用による業務効率化などを推進し、ご利用者様と向き合う時間をより充実させることで、質の高い介護サービスを継続的に提供できる体制を構築してまいります。

当社は、本上場を企業価値向上に向けた重要な通過点と位置付け、ガバナンスの充実、経営の透明性の向上及び持続的な成長を通じて、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指すとともに、その成果として将来的な一般市場へのステップアップにつなげてまいります。

4. 一般市場へのステップアップに向けて

当社は、東京証券取引所 TOKYO PRO Market 及び札幌証券取引所 Sapporo PRO Frontier Market への上場を最終的な目標とは考えておりません。本上場を企業価値の向上を実現するための重要な通過点と位置付け、上場会社としての規律のもと、コーポレート・ガバナンス、内部管理体制、コンプライアンス及び情報開示体制の更なる充実を図り、持続的な成長を支える経営基盤を一層強化してまいります。

また、今後 3 年から 5 年程度を企業価値向上に向けた重点期間と位置付け、収益力及び財務基盤の強化、介護サービスの品質向上、人材への継続的な投資、ICT・DX の推進並びに M&A を活用した事業基盤の拡充を進めることにより、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

一般市場へのステップアップにつきましては、経営基盤の更なる強化、コーポレート・ガバナンスの実効性向上、継続的な企業価値の向上及び一般市場の上場基準への適合状況等を総合的に勘案し、適切な時期に判断してまいります。なお、現時点において一般市場へのステップアップの具体的な時期は未定であります。

当社は、一般市場へのステップアップを市場区分の変更そのものを目的とするものではなく、より高いガバナンス水準と経営品質を備え、幅広い投資家の皆様から信頼される企業となるための重要な目標として位置付けております。今後も、上場会社としての責任を果たしながら、持続的な成長と企業価値の向上を実現し、一般市場へのステップアップを目指してまいります。

5. おわりに

当社グループは、「介護が必要になっても、その人らしく暮らし続けられる社会の実現」という経営理念のもと、ご利用者様一人ひとりの尊厳と意思を尊重し、「わが家のような安心」を感じていただける介護サービスの提供に努めてまいりました。

今後も、上場会社としての社会的責任を自覚し、経営の透明性及び健全性の向上、コーポレート・ガバナンスの充実並びにコンプライアンスの徹底に継続して取り組むとともに、介護サービスの品質向上を経営の最重要課題として企業価値の向上に努めてまいります。

また、ご利用者様、ご家族様、従業員、取引先、金融機関、株主・投資家の皆様、そして地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーとの信頼関係を大切に、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

東京証券取引所 TOKYO PRO Market 及び札幌証券取引所 Sapporo PRO Frontier Market への上場を新たな

成長の出発点と位置付け、北海道から全国へと事業を展開してきた歩みを大切にしながら、更なる成長と企業価値の向上を実現し、その成果として将来的な一般市場へのステップアップを目指してまいります。

今後とも、皆様の変わらぬご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。